

令和6年度高女SAH・GP及び非認知能力についての振り返り 回答まとめ（全学年）

（回答期間：3年は令和7年1月24日～2月28日 1，2年は令和7年3月4日から3月19日）

（回答数：1年生総数280名中272名 2年生総数277名中273名 3年生総数273名中260名 計830名中805名 有効回答率97.0%）

本校は、令和5年度から、群馬県の事業SAHの指定校として生徒エージェンシーを育む学校づくりを進めています。令和6年度には、卒業までに身につけたい力としてGP（グラデュエーションポリシー）を定めました。以下は、令和6年度末に行った非認知能力への理解及びGPに対する自己評価についての振り返りアンケート回答結果です。

アンケートは、本校において、生徒エージェンシーを育む学校づくり、生徒一人一人がGPを実現させていくための考察資料としていきたいと考え、実施しました。また、このアンケートに生徒一人一人が取り組むことで、今後、生徒がさらにエージェンシーなど非認知能力の醸成にも意識をもって行動し、多方面に活躍していくための契機となったら、という願いも込められています。さらに、この結果を学校全体で共有することで、互いの意識や行動の振り返りからも学びを得られたら幸いです。なお、学年ごとの結果については、校内で同学年集団ですべての回答を共有しました。ここでは、学校全体の回答をまとめ、概要を示します。

I 非認知能力についての理解

質問項目	回答結果 回答数（人）と全生徒に対する回答割合（%）	
1 あなたは、今、「非認知能力」とはどんな能力なのか、自分なりに説明することができますか？	十分できると思う（5段階の5）	37人（4.5%）
	まあまあできると思う（5段階の4）	252人（30.4%）
	少しできると思う（5段階の3）	206人（35.7%）
	まだあまりできないと思う（5段階の2）	166人（20.0%）
	まだ全然できないと思う（5段階の1）	51人（6.1%）
70.6%が少しを含めて「非認知能力」がどんな能力なのか説明「できると思う」と回答。		
2 あなたは、「認知能力」と同様に、「非認知能力」が必要である理由を自分なりに説明できますか？	十分できると思う（5段階の5）	50人（6.0%）
	まあまあできると思う（5段階の4）	255人（30.7%）
	少しできると思う（5段階の3）	266人（32.0%）
	まだあまりできないと思う（5段階の2）	179人（21.6%）
	まだ全然できないと思う（5段階の1）	55人（6.6%）
68.7%が少しを含めて非認知能力が必要であるという理由を説明「できると思う」と回答。		
質問項目	回答結果 回答数（人）と全生徒に対する回答割合（%）	
3 SAHの目的である「自ら考え、判断し、行動できる力」につ	十分あると思う（5段階の5）	53人（6.4%）
	まあまああると思う（5段階の4）	342人（41.2%）

いて、現在のあなたの自己評価を してください。 ↓	少しあると思う（５段階の３）	315人（38.0%）
	まだあまりないと思う（５段階の２）	76人（9.2%）
	まだ全然ないと思う（５段階の１）	19人（2.3%）
85.6%が少しを含めて「自ら考え、判断し、行動できる力」が「あると思う」と回答。		

II GPについての自己評価

質問項目	回答結果 回答数（人）と全生徒に対する回答割合（%）	
4 本校のGPの1「自立」～自 ら学び、行動する力～について、 自己評価をしてください。 ↓	「自立」をしようとする意識が高まり、行 動もできた（４段階の４）	88人（10.6%）
	「自立」しようとする意識はいくらか高 まり、少しは行動できた（４段階の３）	473人（57.0%）
	「自立」しようとする意識はあるが、行動 は不足した。（４段階中の２）	224人（27.0%）
	「自立」しようとする意識はまだ高まっ ていず、行動も不足した。（４段階中の１）	18人（2.2%）
67.6%が少しを含めて「自立」しようとする意識をもち、行動ができたと回答。		

4でそのように回答した理由

（回答は任意。以下一部抜粋。文末（ ）内の数字は回答者の自己評価段階。）

【3年生】

- ・Aタイムを計画的に使ったり、探究授業のインタビューを自主的に行ったから。（4）
- ・Aタイムでは、自分の置かれた状況を考えて自分に必要なことを行えたから。（3）
- ・成人に当たり自分の行動に責任をしっかりと持たなければと考えたから。（3）
- ・人に頼らず、出来る限り自分一人で物事を解決しようとした。（3）
- ・2年時からの科目選択があることで、自分の将来についてよく考える機会があったから。（3）
- ・高女の生徒の多くが「自立」しようとする意識が高いから。（3）

【2年生】

- ・ボランティア活動に参加したり学習室をできるだけ利用するようになったから（3）
- ・非認知能力について知り、自分の生活の中で活かそうと努力できたから。（3）
- ・自分なりに最適な学習環境を考えるようになった。（3）
- ・頭で思っただけでも行動に移せなかったから。（2）
- ・意識はしているが、なかなか行動することができなかったから。（2）

【1年生】

- ・ボーイスカウト活動で全国フォーラムや日韓フォーラムに参加したから。（4）
- ・自分がなぜ自立できていないのか、行動することで何がかわるのかを考えてみて、今自分に必要な行動を行うことが出来たから。（3）

- ・数学では、授業でやった問題だけではなくいろいろな参考書を自分で探して解いていたから。(3)
- ・他の人の意見を聞いて新たな視点を持った。(3)
- ・自主的に学習をすることを心掛け、できなかったときもあつたができるだけ頑張ったから。(3)
- ・意識も高まり、行動も少しはできたけど、まだ十分でないと思うから。(3)
- ・椎樹祭実行委員になり、自分たちで考えて実行することができたから。(3)
- ・友達に授業で理解できなかったところを聞きにいった。(3)
- ・探究活動を通じて、自分で探究活動の参考になるようなインタビュー先を探し、アポイントメントをとる、というチャレンジをすることができました。(3)
- ・自分なりに計画を立てて勉強に取り組むことができたから。(3)
- ・課題がないときでも自分なりの目標達成に向けて頑張ることが少しできるようになったから。(3)
- ・考え方が変わったから。(3)
- ・自制心がたりていなかったから。(2)
- ・自分にはできないと思ったり、課題、授業内容の復習で手一杯で活動に参加できなかったから。(2)
- ・やるべきこと、勉強を自分で整理し、計画するまではできたが計画通りに行動しなかったから。(2)
- ・周りに助けてもらうことが多かった。(2)
- ・これが必要、こうしたいと思っても行動しようとしなかったから。(2)

質問項目	回答結果 回答数(人)と回答割合(%)	
5 「創造」～誰かのためになることを新たに創造する力～について、自己評価をしてください。 ↓	「創造」をしようとする意識が高まり、行動もできた(4段階の4)	82人 (9.9%)
	「創造」しようとする意識はいくらか高まり、少しは行動できた(4段階の3)	385人 (46.4%)
	「創造」しようとする意識はあるが、行動は不足した。(4段階中の2)	274人 (33.0%)
	「創造」しようとする意識はまだ高まっていず、行動も不足した。(4段階中の1)	64人 (7.7%)

56. 3%が少しを含めて「創造」しようとする意識をもち、行動ができたと回答。

5でそのように回答した理由(回答は任意。以下一部抜粋。文末()内の数字は自己評価段階。)

【3年生】

- ・総合探究の時間などに、自分にあつた課題について興味関心を深めたり、調査をしていくことができたから。(4)
- ・文化祭でお客さんが大笑いしてくれるような企画を友達と衝突をしながらも一緒に作り、実際に色んな年代のお客さんが楽しんでくれた。(4)
- ・ボランティアや新たに創造することが少なかったから。(3)
- ・廊下にゴミが落ちていたら拾ったり、積極的に挨拶した。(3)
- ・あるイベントの実行委員を行う中で身につけられたと思う。(3)

- ・個人的に「創造」する力は大事だと思うから。(3)
- ・部活動での新しい取り組み。(3)
- ・学級での話し合いの際に双方の意見を尊重するような話し合いができた。(3)
- ・友達が困っているとき、考えすぎてしまい行動に移せなかった。(2)

【2年生】

- ・起業家セミナーに参加し、プレゼンができたから。(3)
- ・椎樹祭実行委員会でその力が高まった。(3)
- ・自分で作り出そうとすることはあったと感じたから。(3)
- ・前より周りのことを考えて行動することが増えたから。(3)
- ・あまり積極的に学校のためになるようなことをできなかったから。(2)
- ・自分の事で精一杯だった。(2)
- ・そのことについてあまり考えなかったから。(1)
- ・誰かのために何かをしようという意識が高まってはいないと思うから。(1)

【1年生】

- ・探究活動のなかで、子供の非認知能力向上に向け、紙芝居制作に取り組むことができました。また、授業でのスライド制作でも自分が気になる事柄について深掘することができた。(4)
- ・探究で十分に創造する力をつけることができ普段の生活でも考えられるようになった。(4)
- ・明確な目標を持つことができたから。(3)
- ・探究で解決策を自分なりに練ることができた、また市役所に相談することができたから。(3)
- ・クラスの自治委員としてみんなのために活動できたと思うから。(3)
- ・部活やクラスで人のために行動できたから。(3)
- ・ボーイスカウトで草むしりプロジェクトを計画したりできたから。(3)
- ・周りの人も思いやりがあって私も行おうと思ったから。(3)
- ・発展探究でワークショップをやろうと色々企画していたから。(3)
- ・生徒主体の活動が多いから。(3)
- ・自治委員の仕事を通して、みんなのためにやりたいという思いが高まったから。(3)
- ・だれかのためになることをしたいとは思っていたけど、実際にはできていないから。(2)
- ・創造を実現するための計画と実現方法を立てていなかった、立て方がわからなかった。(2)
- ・探究活動で課題解決のために努力したが、あまり行動には移せなかったから。(2)
- ・思っているものの、行動するかしないか迷ってしまっていたから。(2)
- ・自分のことで精一杯だったから。(2)
- ・誰かのためになる一般的なこともまなっていないから。(1)

質問項目	回答結果 回答数 (%)	
6 「対話」～多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力～について自己評価をしてください。 ↓	「対話」をしようとする意識が高まり、行動もできた（4段階の4）	132人（15.9%）
	「対話」しようとする意識はいくらか高まり、少しは行動できた（4段階の3）	380人（45.8%）
	「対話」しようとする意識はあるが、行動は不足した。（4段階中の2）	254人（30.6%）
	「対話」しようとする意識はまだ高まっていない、行動も不足した。（4段階中の1）	39人（4.7%）
61.7%が少しを含めて「対話」しようとする意識をもち、行動できたと回答。		

6でそのように回答した理由（回答は任意。以下一部抜粋。文末（ ）内の数字は自己評価段階。）

【3年生】

- ・高崎市で行われた都市計画関係の検討会議に積極的に参加したから。（4）
- ・修学旅行で中国人観光客に道を聞かれたが、相手に英語が通じず困った顔をさせてしまった。悔しかったので、ある程度中国語が話せるようにネット動画で学んだりした。（4）
- ・授業で周りの人と話すときに意見交換を以前より積極的にできたから。（3）
- ・「対話」は生きていくうえで必須スキルだから。（3）
- ・行事を通して様々な人と話すように心がけたから。（3）
- ・自分の意見をあまり言わなかった。（2）
- ・対話はしたいけれど、既にグループができていて入りづらい（2）
- ・周りの席の子たちとしか話そうとしなかった。（2）

【2年生】

- ・政治についての対話など、コアゼミの人の企画に参加したから。（4）
- ・去年に比べてクラスのみなどと沢山話げできたから。（4）
- ・部活動の全員と相談し、目標達成のために全員の意見を反映させた無理のないスケジュールを立てたから。（4）
- ・GFL 合同企画に参加した。（4）
- ・個人で行ったカナダの留学を通して、国際的なコミュニケーションを取ることができた。（4）
- ・Youth Leader Program に参加して、積極的に発言、会話ができた。（4）
- ・政治について対話する会を開いた。（4）
- ・ユーチューブなどで感化されたから。（3）
- ・外国人と対話する機会があまりなかったから。（3）
- ・クラスの色んな子と話せるようになったから。（3）
- ・グループ内での話し合いなどができたから。（3）

- ・沢山の人と関わり、話ができただが、グローバルに活躍するような対話はできなかった。(3)
- ・探究活動でインタビューをしたから。(3)
- ・海外の方と何度か話すことができたから。(3)
- ・色々な場面で話し合うことができたから。(3)
- ・過去の自分と比べると対話の量は増えたように思うから。(3)
- ・対話を大切にしようとしたから。(3)
- ・外部での活動で意識することを心がけたから。(3)
- ・ボランティアなどしようと考えていたのに行動に移せなかったから。(2)
- ・対話まで行き着いていないと思ったから。(2)
- ・意識し、行動しようとしたが、あまりできていないと思うから。(2)
- ・まだ対話をするのが苦手だから。(1)

[1年生]

- ・アメリカ研修に参加し、異国の地で積極的にコミュニケーションを取れたから。(4)
- ・自分から進んで対話をし、友達をつくることができたから。(4)
- ・異文化交流会に参加することができたから。(3)
- ・どうしても自分のその時の気分で行動してしまうからその時によってコミュニケーションの仕方や態度に差が出てしまうからあまり行動できたとは言えないと思ったから。(3)
- ・聞き上手になれたから。(3)
- ・多くの人と交流することを目標にして、少しだけ達成することができたから。(3)
- ・話しかけてくれた友達には自分からも話しかけられた。しかし、自然に話したり、あまり会話経験のない人、はじめましての人に話しかけることが難しい。(3)
- ・ソフィー先生の発音講座で少しお話ししたり、高女イグナイトで講師の方とお話しできたから。(3)
- ・部活で先輩、後輩など立場を気にしすぎずにしっかりと自分の意見を出すことができたから。(3)
- ・英語で話をする時、ジェスチャーなどを使ってなんとか相手に意見を伝えようとしたから。(3)
- ・学校外のプログラムに参加するなど積極的に人と関わられたから。(3)
- ・知り合いが0に等しい状態から友人の輪を広げることができたと思うから。(3)
- ・ボランティア活動を通していろいろな人と会話することができたから。(3)
- ・関わりをもつ色々な人と積極的にコミュニケーションをとることができたから。(3)
- ・いろいろな人とコミュニケーションをとりたいとは思っていたけれど、実際にはそれほど多くの人と話せなかったから。(2)

7 その他、あなたが高校時代に伸ばすことのできた非認知能力とその理由について、例に従って、自由に説明をしてください。いくつ書いてもかまいません。例：●●力：●●のため

(回答は任意。以下一部抜粋。)

【3年生】

- ・対話力: 人と沢山話すことで、新しい出会いを見つける楽しさと、人の気持ちを理解する難しさを改めて知ったから。
- ・自己客観視能力: 部活などのコンクールや定期演奏会などの活動を通して、自分の表現方法や、見え方などを客観視する能力を三年間で身につけることができた。
- ・行動力: 文化祭のため。
- ・判断力: 部長などで全体の意見をまとめたりできた。
- ・計画力: 先を見越して計画を立てたり、物事の優先順位を考えて行動する機会が多くあったから。
- ・自ら学び想像する力 自分の将来のために積極的に行動できたから。
- ・自立・行動力: 少し自立して行動できるようになった。

【2年生】

- ・コミュニケーション力: 何をすることも目標を達成するには周りとの協力することが不可欠だから、よい関係を築くためにも相手を思った言葉選びを心がけた。
- ・責任感: 部活動の部長として、部をまとめるためにもまずは自分がやるべきことをやり遂げ、「私がここまでやるからここからはみんなに協力してほしい」といった明確な指示を出せるようにした。
- ・伝えようとする力: 社会に対しての問題意識を一人で抱えずに、周りに発信するようになった。自分がやりたいことや課題に思っていることを伝えると、相手からの共感を得られることもあり、力になっていただけもあった。
- ・意見を言う力 部活で副部長を努め、組織の中核として積極的に発言できたから。
- ・共感力 自分の経験を活かし人の気持ちを考え寄り添えるようになったから
- ・協力する力: いろいろな学校行事で沢山のひとと共同してなにかをすることを学んだため。
- ・見通す力・実行力: 数学での AAR サイクルを取り入れた授業によって問題をどのように解くか、いったんそれを実行してみるなどといった行動を繰り返したため。
- ・向上力: 右肩下がりで自分を鼓舞できるようになったから。
- ・好奇心: それを持ったときに詳しく知ろうと行動できたから。
- ・行動力 自分の目標、夢を達成するため。
- ・自己分析力: 自分にあった勉強法やストレスの少ない生活を見つけるために自己分析を常日頃行っていたから
- ・自分で計画を立てる力: テストや部活が忙しくても、計画を立てて行動できたから。
- ・自分を見つめる力: 自分について考えることが多かったから
- ・自立する力: 自分にはどのように勉強するのが適しているのか考え実行できたと思ったため
- ・自立力、自分に何が不足しているか考えられたから。
- ・積極的に勉強に励んだり探究できた。
- ・想像力: 人間関係のなかで、想像力を働かせて一緒に過ごすことができたから。
- ・対話: 人とのコミュニケーションが円滑になったため。

・勉強を努力する力、3年生になって切羽詰まらないようにするため。

【1年生】

- ・協調性:文化祭などあそこまで大きなものをクラス全体で作り上げることが今までなかったのでクラスのみならず協力したことによってさらに協調性を高めることが出来たと感じるため。
- ・協働力:周りの友達と協力して椎樹祭や体育祭を盛り上げることができたから。
- ・協力する力:部活で仲間と力を合わせて活動することができたため
- ・継続力:苦手な数学から逃げずに、毎日少しずつ復習をするようになったため。
- ・計画性:課題以外の学習を計画を立てて行えたから。
- ・思考力:物事についてたくさんの意見を考えたから。
- ・行動力:学校説明会で中学生とその保護者高女に来てもらえるように説明できた。
- ・自己分析力:高校で授業の進め方が変わってはじめて戸惑ったが、自分にあった方法を考え、少しずつ適応し続けている。
- ・集中力:一つの物事と真剣に向き合って努力できたため。
- ・想像力:文化祭などを通していろいろなことに向き合ったから。
- ・他者とのコミュニケーション力:入学して知らない人がたくさんいる中で自分から多くの人に関わり色々な会話をすることができたから。
- ・他者への配慮:部活やクラスでの生活を通して、人に気をつかうことができたから。
- ・他人への配慮:中学よりも人数が増えて配慮する人数も多くなったので周りを見れるようになったと思う。
- ・コミュニケーション能力:知らない人とのコミュニケーション機会が増えて今までよりも外交的になってきた
- ・対応力:失敗から学びを得、様々な状況に応用できたと思うから。
- ・挑戦する力:学校外のプログラム、自治委員などに積極的に参加できたから。
- ・忍耐力:テスト部活などで自分で何事にも諦めずに取り組めたから。
- ・忍耐力:難しくなった勉強や高校生活の様々なイベントに諦めずに取り組んでいくことができたから。
- ・忍耐力:部活で長い間の練習を頑張れたから。
- ・忍耐力:勉強を継続させるため。
- ・忍耐力や協調性:南先生のご指導や先輩方の背中を見て学び、部活動を通して伸ばすことができたため。

8 その他、あなたが今後さらに伸ばしていきたい非認知能力とその理由について、例に従って自由に説明をしてください。いくつ書いてもかまいません。例：～力：～のため。

(回答は任意)

【3年生】

- ・自分の考えを言語化する力:多様な人と関わり合う中で、言語を通じて交流し、相手を否定的、肯定的に捉えて自分の意見を表現する力が必要になると思うから。
- ・創造力:大学に進学し、新たな技術やものを作りたいと思ったから。
- ・対話力:人との円滑なコミュニケーションのため。
- ・計画力:先をみとおす力を身につけたい。

- ・創造力 新たに創造してより暮らしやすい環境にしたいと思ったから。
- ・上手に発表する力。

【2年生】

・リーダーシップ 率先して課題を解決しようという意識をもてば自ずとアイデアが湧き、それを周りに伝えれば賛同してくれる人もいるということを知った。今までは大勢の人に指示を出すといった機会をあまりもったことがなかったが、指示とまでいかなくても自分のアイデアを周りに積極的に伝えることができれば、課題解決に貢献できると思った。周りの社会をより良くするために、率先して考えるリーダーシップの意識をもちたい。

・クリエイティブ力

- ・グローバルな力 英語を身につけ外国の色々な人と関わりたい。
- ・コミュニケーション能力 どこで何をしてもあれば何でもできそうだから。人との関わりを広げられるから。
- ・共生力。多様な人と共存できるように人にもっと興味を持てるようになりたいから
- ・継続力: 毎日やると決めたタスクをこなせるようになるため。/目的のために努力するため。
- ・継続力: ものごとを長く続けることが苦手なので、本格的に受験生になるにあたって身につけたいから。
- ・計画力: 先を見通して計画していきたいから。/計画性をもっと身につけたい。
- ・行動力 同じ年齢で社会に貢献するために活躍している人がたくさんいるから
- ・自分に厳しくする力 自分の甘さを多々実感しているから。
- ・自立: 自分から考えて、率先して行動できるようにするため。/将来のため。/社会に出て必要だと思うから。
- ・責任をもつ力 確実にその時得られるものを得るため。
- ・先のことをすぐに考えられる力。今後大切になってくると思うため
- ・想像力: 常識にとらわれている部分があるから
- ・対話する力: 国を超えてコミュニケーションをとれるようになりたいと思うため。
- ・話す力: 社会で必要だから。

【1年生】

- ・コミュニケーション能力 多くの人々と会話することで様々な価値観を理解できるようになりたいから。相手の考えや気持ちをより把握できるようになりたいから。/どの国に行っても、一番大事だと思うから。
- ・コミュニケーション能力: これから社会に出ていく上で、身につけておくべき能力だから。/同様多数。
- ・コミュニケーション力: 相手がだれであったとしても、他者との交流を円滑に行えるようにするため。
- ・プレゼンテーション能力: もっと聞き手も満足できるような発表ができるようになりたいため。
- ・まとめる力: 多様性を重視しつつ周りをまとめられるようにするため。
- ・対話力: 将来いろんな人と共に仕事をして社会の役に立つことをしたいから。
- ・決断力: 日常に転がっているチャンスを逃さないため。
- ・行動力: 計画を立てるだけに終わらず完遂できるようになりたいから。
- ・自己管理力: 自立するため。
- ・自己肯定感: 明るく前向きになりたいため。
- ・主体性: つい受け身になってしまうことが多いため。もっと積極的に動けるようになりたいと思ったため。
- ・自己認識力: 自己肯定感が低い認識があるため。

- ・自制力: 能動的な学習ができるようにしたい, 協調性 もっと人と仲良くできる技術がほしい
- ・自分で感情をコントロールする力、周りの人を尊敬する気持ち、自信、自分の軸
- ・自分の気持ちを前向きにコントロールする力: 感情のままに行動してしまった場面が多かったので、自分と向き合い、気持ちをコントロールして困難にも立ち向かっていけるようになりたいから。
- ・自立力: 自主的な学習、行動をできるようにしていきたいから。
- ・社交性: 今年度は実行委員やボランティアを一つもしなくて来年度は挑戦してみたいため。
- ・集中力: 物事に集中できるときとできないときの差が激しく、比較的出来ていないときのほうが多いと感じるから。集中力を身に着けることが出来れば部活にもいい影響を与えることが出来て、勉強面でも効率よく勉強することが出来ると思うから。
- ・情報リテラシー: いろんな情報が飛び交い、誰がどんな立場で書いたものかも含めて判断できるようにするため。
- ・人との会話を盛り上げられる力と礼儀。社会に出た時にコミュニケーションを円滑に行い、また上の立場の人への礼儀をしっかり学びたいから。
- ・積極性: 今年度は自分から行動を起こすことが少なかったため。
- ・創造する力: 毎年変わっていく椎樹祭を実行委員だけに任せるだけでなく、みんなで作っていく。
- ・想像力: この行動をしたらどんな影響がでるかきちんと想像してかは行動したいと思ったから。
- ・対話能力: 様々な人と意見交換しやすくするため。
- ・探究する力 資料を鵜呑みにしてしまっていると感じたことがあるため。
- ・注意力: 忘れ物を減らしたい、先生の話をお忘れしない。
- ・粘り強さ: テスト期間などの計画や目標に向かって諦めないようになりたいから。
- ・論理的な思考力: 論理的に考えるようになったほうが良いと思うから。

○非認知能力とGPについて～本校の生徒の回答から考察する～

非認知能力については、全校で7割(70.6%)の生徒がどんな能力なのかを説明できると回答しました。また、約7割(68.7%)の生徒が「非認知能力」が必要であるという理由を説明できるとしています。さらに、SAHの最上位目標である「自ら考え、判断し、行動できる力」については、約9割(85.6%)の生徒が自らに「あると思う」と回答しています。このように、本校においては、エージェンシーへの理解や非認知能力の重要性は生徒が理解していることがわかります。ただし、「十分に理解し、説明できる」、もしくは「まあまあ理解し、説明できる」というレベルはまだ4割程度にとどまっており、生徒がより肯定的に捉えることができるように諸活動をとおして取りくんでいく必要があろうと考えられます。

また、本校で掲げたGPの3つのキーワードである自立、創造、対話については、いずれも約6割(自立 64.3% 創造 56.3% 対話 61.7%)が少しを含めて意識し、行動できたと回答しました。しかし、これについても「いづれ意識し、少しは行動できた」とする回答がほとんどであり、最上位段階での回答(「意識し、行動できた」)は約1割にとどまっています。また、言葉の意味は生徒各自が広く捉え、自らの現在と将来に向けて必要な力を育む一環としてとらえていきたいところですが、まだ、言葉の意味を限定的に捉えている場合が多いことも回答から推察できます。

今後は、学校でも、この3つの言葉をより広く捉え、様々な場面がその言葉の意味とつながっているということを促すような声かけをするなどしながら、そこから様々な力が派生的にも生み出されるとともに、様々な可能性が含まれていることを伝えながら、このGPを通じた協働の学校づくりを進めていきたいと考えています。

○学校から生徒の皆さんへのメッセージ

回答から、皆さんが様々なことを高校生活を通して学び、自己を成長させようと努力していることや、自己の成長を感じていることなどがわかります。互いの思いに触れながら、ますます自己の成長を企図し、さまざまに活躍をしていける力を全力で育てていきましょう。

また、本校でGPとして掲げられた「自立 創造 対話」の3つのキーワードは、皆さんの現在や将来の生活と、様々な場面でつながっているものです。言葉の意味を広く捉え、そこから様々な力が派生的にも生み出されること、そしてその言葉には様々な可能性が含まれていることを考え、自由に思考を羽ばたかせて自らの意識と行動をつくりだしてほしいと思います。